

第2回 西宮市学校給食審議会 会議録

日 時	令和4年3月16日(水) 午前1時15分～午後2時30分	会 場	西宮市役所 江上庁舎 3階会議室
出 席 委 員	◎浦上 拓也 ○高橋 享子 牛尾 重信 岡 敏行 岩本 佳菜子 松本 祐子 (◎は会長、○は副会長)	事務局 職 員	藤井 和重 教育次長 八橋 徹 教育委員会参与 柏木 弘至 学校給食課長 宮西 邦典 学校給食課係長 升田 洋輔 学校給食課係長
欠 席 委 員	なし	事務局	なし
議 題	1. 開 会 2. 議 題 3. その他連絡事項 4. 閉 会		
署名委員	浦上会長	岡委員	岩本委員

事務局	<p>それではただいまより、令和3年度の第2回西宮市学校給食審議会を開会いたします。本日はご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。それでは、会長、議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。それでは、議事を早速進めてまいりたいと思います。本日は午後14時30分を終了予定としまして、進めさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、議事録署名者を決めさせていただきます。本日の署名者は、岡委員と岩本委員にお願いしたいと思います。お二人ともよろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、傍聴について、事務局からお願いします。</p>
事務局 会長	<p>本日の傍聴希望者はございません。</p> <p>はい、ありがとうございます。それでは、早速議題（1）報告事項のア「令和4年度当初予算について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、令和4年度当初予算について御説明いたします。</p> <p>資料2を御覧ください。3ページに渡って記載しております。</p> <p>令和4年度予算要求資料ということで、この3月の市議会で可決されまして予算が確定するということになりますが、現在、私どもが要求しております予算について、増減額の大きいものを中心に簡単に御説明をさせていただきます。また、千円単位は切り捨てて御説明させていただきます。</p> <p>まず、教育委員会の所管分の歳出予算でございますが、前年度より5,901万円の減になっております。これにつきましては、学校施設の改築や改修などにより、投資的経費が増額となったものの、全庁的な生涯学習推進体制の構築を目指し、令和3年度に、図書館・公民館などの社会教育機関と、文化財の保護に関する事務を産業文化局へ移管したことなどに伴い、消費的経費が減額となったことによるものです。</p> <p>続きまして、給食管理運営事業でございます。こちらについては歳出を御説明申し上げます。まず、2ページを御覧ください。10の02消耗品費が74万円の増となっております。これは米飯食器を学校に納品する際のアルミパン箱の購入等に伴う増となっております。また、10の07電気使用量、08ガス使用量、09修繕料、11の01電話使用料については、JR西宮駅南庁舎への移転により増となっております。</p> <p>次に12委託料167万円の減ですが、学校給食費等徴収システム機能改修の後年度見送りにより減となったものです。</p> <p>次に13使用料及び賃借料25万円の減ですが、サーバー・パソコン・プリンタの再リースにより減となったものです。</p> <p>17備品購入費の297万円の増については、耐用年数の関係から更新する備品が年度によってばらつきがあるため、次年度については増額となっております。主な内訳としましては、フードスライサーの購入費が297万円の増、冷凍庫の購入費用が105万円の減となっております。給食管理運営事業につきましては、以上でございます。</p>

	<p>3ページを御覧ください。次に予算事業、給食物資購入事業でございますが、特定財源の歳入、給食費負担金収入が1,220万円減となっております。これは、給食予定人員の減によるものです。</p> <p>次に、歳出ですが、10の05食糧費が1,352万円減となっておりますが、これは、歳入の理由と同様でございます。12委託料につきましては、132万円増となっております。これは、給食物資の配送に係る委託料となっております、労務単価の増によるものです。給食物資購入事業につきましては、歳入、歳出予算が同額となっております。</p> <p>予算事業、給食施設設備整備事業でございますが、12委託料が533万円の増となっております。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、空調設置工事が1年ずれたため令和3年度は未実施となっておりますが、令和5年度空調整備工事に向けて設計が必要なため皆増となっております。</p> <p>14工事請負費449万円の増、17備品購入費507万円の減につきましては、年度により必要な工事、更新する備品が変わることから次年度は増減しております。備品の主な内訳としましては、老朽回転窯の購入費が334万円の減、温水ボイラーの購入費が244万円の減となっております。</p> <p>説明は以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、ただいまの説明につきまして、何か御質問、御意見等ございますでしょうか。</p> <p>特に大きな影響はないですかね。</p>
委員	<p>一つだけよろしいですか。2ページの10番の02アルミパン箱の購入ですが、今プラスチックのあの分は、アルミパン箱に変わるということですか。</p>
事務局 副会長	<p>これは特に変更があるものではないのですが、また確認させていただきます。</p> <p>よろしいでしょうか。3ページ目の歳出の12番の委託料のところですけども、コロナの影響で、コロナ感染の拡大影響によって工事はストップしたということですよ。</p>
事務局 副会長	<p>はい、そうです。</p> <p>そのための費用が浮いて、これを令和5年、1年飛ばしの令和5年度に回すという意味でよろしかったでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。まずは令和2年度に実施する予定の工事は、その準備として、設計は前年度にすることになっています。前年度に行うものが既に終わっていたので、その分で3年度に動くことができたのですが、今度5年度に向けては設計はやっておりませんので、それを続けてするために4年度行うことになったということで増となっております。</p>
副会長 事務局	<p>その予算は持ち越しということで理解してよろしいのでしょうか。</p> <p>工事費の方は2年度から3年度には動いたのですが、設計は一旦3年度行わなかったのので、それを改めて計上したということになります。</p>
副会長	<p>はい、わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。その他何かご質問などありますでしょうか。</p>
会長	<p>では予算については、ご質問をいただいたということで次に進めさせていただきたいと</p>

事務局	<p>思います。</p> <p>すみません。先ほどのアルミパン箱の表現で、こちらの予算計上ではさせていただいているのですが、今までの物と形状として変わる物ではないということだけお答えさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。では次に進めさせていただきます。</p> <p>それでは、続きまして、議題(2)その他ア「学級閉鎖等に伴う余剰食材の回収について」事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい、調達チームの升田と申します。本日はよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは私の方からご説明させていただきます。</p> <p>3学期に入り、新型コロナウイルス感染症の変異株「オミクロン株」の急激な拡大により、多くの学校園で一時的に学級を閉鎖するなどの措置がとられています。こうした中、学級閉鎖等に伴う余剰食材を回収し食品ロスへの取り組みを進めることとしましたので、ご報告いたします。</p> <p>それでは、資料3を御覧ください。</p> <p>まず本市の発注スケジュールについてご説明します。おかず用物資、青果類や肉及び魚類については給食実施日の3日前10時30分まで、主食（パン・ごはん、牛乳）については給食実施日の2日前10時30分まで数量変更を受け付けています。なお学級閉鎖の場合のみ、主食（パン・ごはん、牛乳）については給食実施日の前日10時30分まで数量変更を受け付けています。</p> <p>なお、おかず用物資の発注数量変更受付期限について他市に確認しましたところ、神戸市や姫路市については1週間前、尼崎市は10日前、明石市は2週間前となっております。これらの自治体と比べますと本市においては事前に食品ロスを削減できておりますが、給食実施日当日やその前日での学級閉鎖の決定については対応できず、今回の取り組みに至りました。</p> <p>続きまして2番 物資配送スケジュールについてご説明します。物資は給食実施日の前日から納品されます。その目的としましては、それぞれ最適な温度帯で配送することや前日から物資の状態を確認しておくことで、当日の調理時間を確保しています。給食実施日前日1回目には冷蔵品 バターや豆乳、ジャムやチーズなどを配送し、給食実施日前日2回目には乾物やたまねぎ、じゃがいも、にんにくなどを配送しております。そして給食実施日前日3回目には冷凍物資（肉・魚、ハンバーグやエビフライなどの加工食品）配送しております。</p> <p>そして、給食実施日当日には、青果類等の生鮮食品を配送します。</p> <p>3番 余剰食材の活用に関する課題として、主に以下の事情がございました。前日に物資が納品されるため、学級閉鎖が前日や当日に決定される場合に学校への納品数量の調整ができない。また学校に配送した後の食材を別の場所に配送し直す手段がないなどの問題点がありました。</p> <p>4番 余剰食材の活用に関する対応についてご説明をいたします。先ほどのような課題があったことから納品される食材については、これまで持続可能な開発目標の観点からも、</p>

	<p>できる限り各学校で使用してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の変異株「オミクロン株」の急激な拡大により、一つの学校で多くの学級閉鎖となった場合、使い切れないケースが出てきました。今回配送業者の申し出により、配送業者、学校給食課、社会福祉協議会の3者で協議し、使い切れなかった余剰食材の引き取りを先ほどの食材配送の「3便 冷凍便」にて行い、食品ロスへの取り組みを進めることとしました。</p> <p>続いて資料4を御覧ください。今回の取り組みの運用イメージとなっております。</p> <p>1番 食材回収時の運用について、ご説明します。</p> <p>今回余剰食材の回収にあたり、食材配送の最終便である冷凍物資の配送時に各学校に対して余剰物資の有無について確認し、有る場合は学校から余剰食材と回収依頼票を受け取ることとしました。こちらの回収依頼票は物資の種類と数量を記載する様式で簡単なものとなっております。</p> <p>続きまして2番 食材回収後の運用についてです。配送業者が学校から持ち帰った余剰食材の種類や数量について、1番 FAXで西宮市社会福祉協議会に情報提供を行います。情報提供を受けた西宮市社会福祉協議会は、2番 LINEやメールを活用し、各団体 ども食堂に食材についての情報提供を行います。情報提供を受けた各団体は、直接配送業者へ引き取りの申込を行い、来所時間帯を調整の上、食材を引き取ります。</p> <p>続いて、その他についてです。各団体で活用できた食材に関する集計は配送業者から、引き取り確認リストを回収し、学校給食課が行います。また活用できなかった食材はフードバンクへも照会し、引き取り希望がなければ学校給食課が西部総合処理センターに持ち込み廃棄処理する予定となっております。</p> <p>今回の取り組みにつきましては、配送業者が無償で余剰物資の回収を行うという申出が事前にあったということと、コロナで学級閉鎖となった場合の食材の費用については、市の負担としていることから実現したものとなっております。来年度以降につきましては同様の取り組みができるかどうかは、現時点では未定となっております。</p> <p>最後に現時点での食材の回収実績及び各団体への配布実績について、ご説明いたします。</p> <p>現時点で5校から食材の回収の申し出がございました。主な食材としましては「冷凍のさわら 40g : 240切」「冷凍のギョーザ : 60個」「冷凍のハタハタ : 150尾」などがございました。</p> <p>また各団体への配布実績ですが、先ほど回収実績で申し上げました食材も含め、回収した食材はすべて子ども食堂で活用いただき、廃棄処理したものはありません。</p> <p>私からの説明は以上です。</p> <p>ありがとうございました。それでは、ただいまの説明について、何か御質問、御意見等ございますでしょうか。</p> <p>すみません。いま西宮で実施されている対象の子ども食堂が幾つくらいあるのかということ、来年度は分からないということなんですが、来年度もやっていただけたらなど、お願いしますという意見です。</p> <p>ありがとうございます。まず対象の子ども食堂なんですけれども市内の13の食堂にお声を掛けさせていただいておまして、実際に引き取りに来られた食堂の数は5つになって</p>
会長	
委員	
事務局	

	<p>おります。また先ほど仰っていただいた来年度に向けての取り組みというところなんですけれども、現時点では未定なんですけれども、配送業者の方も「前向きに今後もやっていきたいね」ということは先日お声掛けをいただいていますので、また3学期が終了次第、お礼と今後の取り組みについての協議を進めたいと考えております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、何かご質問ありませんでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>よろしいでしょうか。いま文部科学省の学校給食の取り組みの一つに地場産物と緊急事態における給食の組み方、それからフードロスの問題、そこに社会福祉課題ということで取り上げておまして、フードロスは特に大変力をいれていかないといけない、国全体も給食以外のところもフードロスについて取り組まないといけない、ということで西宮市が今回やられた方法というのは、とても推奨できる方法だと思いますので、実践例としてデータを整理されて、それをまた色んな所で公開されていかれた方がいいと思うんですね。他市もされているかもしれないですけども、他市の見本になるように兵庫県内でも色んな取り組みしているなどというのを、西宮市はこういう画期的な取り組みをするってということで紹介していただけたらと思いますので、データを蓄積していただけたらと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>すみません。私の質問なんですけれども、今回は冷凍食材のみの回収だったということですよ。</p>
<p>事務局</p>	<p>回収の便が冷凍便の配送時になるんですけれども、冷凍便を配送した後に引き取る食材が、例えば常温や冷蔵便の場合は、庫内をその温度に分けて持ち帰ることができますので、冷凍便を届けた後に、常温物資であれば常温の部屋の方に入れさせていただいて、回収をさせていただきますので、常温であったり冷蔵の物も実際は学校様から引き取りをさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>わかりました。それが冷凍物資を配送していただいている業者さんだったということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。この食材配送につきましては、基本的には配送センターという市内の業者様のセンターの方に一括で各業者様が食材を納品しておまして、その配送業者が3回ないし4回にわけて各学校に配送に回っているという形になりますので、西宮市の配送業者につきましては、基本的にこちらの1社様を中心という形になっています。</p>
<p>会長</p>	<p>中心にということは1社だけでなく複数社が協力していただいているということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この事業につきましては1社のみでして、厳密にいうと牛乳なんかは森永乳業様が直送で学校に持っていったりということはあるんですけども、おかず用の物資につきましては、この配送業者様1社のみになっております。</p>
<p>会長</p>	<p>ずっと以前に、この場ではなかったと思うのですが、今回お手伝いいただいている倉庫を保有されている配送業者さんが西宮市内にはこの1社しかいらっしやらないというお話をお伺いしたのですが、その1社さんが今回お手伝いいただいたんでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、そうです。我々としましても、まずはそういう配送業者の方の契約を結ぶにあた</p>

会長	<p>っては、できるだけ広く公募して、その中で入札により決めさせていただきたいという考えを持っておりまして、色々な配送業者さんの方にそういった倉庫も含めて委託契約できないだろうかとお声掛けさせていただく中では、応募していただける業者がなかったということで、今契約していただいている業者さんだけの契約に現状としてはなっています。</p>
会長	<p>やはり西宮市の事業ですから、西宮市内の業者さんが複数いらっしゃれば競争入札って成り立つんですけども、1社しかいらっしゃらないという中で、以前のお話の時には競争入札のために西宮市以外の業者さんについていうお話もされたので「そうじゃないですよ」と、やはり西宮市内の事業であり、西宮市内で西宮市のお金が入ったり、食材に関しては西宮市の皆さんから給食費を取って回している事業ですから、これはやはり地元にとすとというのがベストだなということなので、入札のためにわざわざ西宮市以外の業者さんが入っていただくようなことはしない方がいいのかな、というお話を一度させていただいたことがありました。でも今回は、この西宮市の業者さんが、大変西宮の皆さんにとっても非常にありがたいお申し出をしていただいて、こうやって協力していただいていますし、仮に将来、配送業者の入札なんかがあるとすると、これだけきちんと実績を残されている業者さんが引き続きやっていただけるためには、ぜひ長くこのようなことを協力していただけるような何か仕組みをお考えいただいて、その上で「来年度も」と今PTAの方からのお話もありましたので、こういった取り組みを長く続けていただけるような何かいいアイデアを考えいただければと思います。中々こういったことを長く続けるためには色々入札とか色々考えないといけないようなことがあるかと思いますが、そこも考えてください。ぜひ長期的に長くやっていただいて、単純な業務委託であれば非常に期間が短いようなことしかできないですが、もう少し期間を長くしていくような新たな仕組みづくりを含めて、ぜひ長期的にやっていただきたいなと思います。今回はコロナウイルスということでしたけれど、昨日打合せさせていただいた時も、2年間インフルエンザが拡大しなかったのも、いよいよ来年コロナが落ち着いても、インフルエンザが大きく拡大するというリスクも一方ありますし、今回私の息子の学校も学級閉鎖がたくさん出ましたけれども、同じような状況が起こらないとも限りませんし、ぜひこういった取り組みをしていただいて、少しでもフードロスなどにも貢献できるような西宮市の学校給食だったらいいなと思いますので、ぜひご検討いただけたらと思います。お願いします。</p>
事務局	<p>何か他にありますでしょうか。言われてみると中々これはすごく素晴らしい取り組みですよ。</p> <p>こちらとしては、やはり市内業者だからできたことかなと思っておりまして、長年当課の業務を受けていただいている関係もあって、特に社会貢献や地域貢献に向けて活動されている中で、見るに見かねてということでお声掛けいただいて、今回まずは試行実施のような形ではあるのですが、実施させていただくことができましたので、今後もこういった部分での市内業者の育成の部分もあるかと思っておりますので、業者の方の動きも見ていきたいと考えております。</p>
会長 事務局	<p>その他にかご質問などありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。コロナ禍におきまして、ご報告を1点させていただきたいと思</p>

ます。給食の調理員の体制についてなんですけれども、コロナが始まって以来、昨年度から、もしものためといいますか、いま学級閉鎖が起きていますけれども当然調理員もあるわけですよね。調理員の部屋というのは、調理場は換気もありますし、もちろんマスクもしていますので問題ないんですけれども、休憩室というのがすごく狭くて、そこで一緒に給食を食べたりお昼ご飯を食べたりするので、そこで全員が濃厚接触者にあたる可能性があるということで、去年から校長会を通じてであったり、調理員にももしもの時は応援の体制をよろしくと言っていたんです。それがオミクロンの感染しやすい状況になって、とうとう現実的になりまして、ここ最近中学校2校で調理員が全員濃厚接触者になった所がありました。事前にそういうお願いをしていたものですから学校・調理員も協力的で、調理室は62校あれば62種類ありますので、レイアウトが違ったり調味料の置場が違ったりしますので、そこが全滅になった時に、以前に前任が誰なのかというのをチーフ調理員から全部あたりまして「応援を」ということで2校の学校について前任のチーフに声を掛け、前任の担当した調理員に声を掛けて急場を凌いだという経過があります。その内1校については、だいたい陽性になって濃厚接触者と特定されるのは夕方なものですから、1校については、その次の日は給食を出せませんでしたけれども、翌々日には体制を組めて出せたというのがあります。これについては、学校の校長先生・調理員、皆さんのご協力を得て体制がとれて「できるだけ給食を止めない」「給食を止めずに、ご家庭からお弁当を持ってきて午前中で学校が終わるということがない」と学校に負担をかけない形でできたという事例がございますのでご報告したいと思います。全滅まで至らなくても1人2人、濃厚接触者じゃないですよ、ということで欠けることも結構あるんです。例えば5人いて1人が抜けると代替調理員というのを入れて、5人の体制を維持するということがあるんですけれども、今の時期抜けるとそこに入る人員がいまないので、それは調理員同士がネットワークを通じて1人欠のような状況でも作れますよ、ということでやってくれたりしています。学校給食課には無理をいって、普通の食材と人数が少ない時のためにレトルトのカレー、災害にも使用できるレトルトのカレーを用意してくれているんですけれども、それを両方持って行って、レトルトを使うことは今のところなく、普通の食材でできているんですけれども、そういった体制もしながらこのコロナ禍の給食を維持しています。手前味噌なご報告でしたけれども、そういうことをさせていただいているということです。以上です。

会長

ありがとうございます。濃厚接触者というのは今回コロナで多いですが、元気なのに出られなくなったということになって、今回コロナで調理室の全員が該当してしまうと全く機能しなくなってしまうということがあって、今ご説明いただいたように非常にその場その場でご対応いただいて、何とか最低でも給食を止めないってことをやっていただいたんですけれども。現在、我々はウィズコロナで動いていまして、同じような病気が来年起こらないとも限らないわけなんですけれども、ポストコロナだと濃厚接触者っていう者がいなくなるとすれば、リスクや心配は他に何か考えられるものはあるのでしょうか。今の臨時的な特別な対応としては、十分ご検討いただきたいものなんですけれども。さっきのインフルエンザには濃厚接触者はありませんので。

事務局 会長	<p>インフルエンザでも結構な感染力がありますので。</p> <p>感染力があるので全滅というのは当然あり得る話ですから、感染症が他にも可能性としてなくはないので、こういったリスクに対する備えというのは今後ともご検討いただいて。</p> <p>前の調理員さんというのは他の学校に務めていらっしゃる調理員さん、代替調理員さんというのは臨時にたまたま入っていただいている方ですか。</p>
事務局	<p>そうです。ブロックに分けているんですけども、そこで1人休むことになると要請をして1人入れてという形になっているんです。全部全滅しましたら、ここの学校から1人、ここの学校から1人という形で経験者がバラバラになっていますので、それを集めてそこに対して代替調理員が確保できるかどうか確認して、結局できないけれども「1名出してあげるよ」というところで、1人欠の形で何校かそういう形になって人を集めるとか、そのような形に今はなっています。ですので負担がかかっているのは何校かにかかるという形になります。そこで綺麗にはまればいいんですが、結構全滅しない学校でも色んな所で休んでいる方もおられますので。</p>
会長	<p>となると60校なら60校の調理室の配置があるということなので、それを皆さんが共有できるような仕組みづくりが必要なのかなど。あらかじめこういう配置というのがすぐに確認できるようなものがやっぱり必要なんですかね。</p>
事務局	<p>食数も違えば釜の数も違いますので。その辺が慣れた所でないと、行って急にというのが難しそうなので。</p>
副会長	<p>よろしいですか。どこの施設でもどこの部署でも同じことだと思うんですけども、人材プールというのはやはり必要で、今60数校でそうやって不足しているところを補い合うシステムを作られていくことも大事ですけど、そうではなくてそれが長期間に及んだ場合には経験者をプールしておかれて、いつでもコンタクトとれるようなシステムとっておくとか、そういうところから臨時的に入っていただけたらとか、そういう人材プールは必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>一応、代替調理員というのを85人くらい確保しているんですけども、コロナの今の現状で学校や保育所で学級閉鎖になると、子供さんが小さかったら休まれたりするの、かなりの数が減っているんですね。ですので85人が中々確保できない状況になっているところではあります。</p>
会長	<p>医療関係者は濃厚接触で病院に行けないというのはよく聞きましたけれど、いま改めて考えると公務員さんも同じく出勤できない状況になると給食が出せないリスクもあるんだなど。それでも一回だけ止めたということなので、とことん止めなくて済んだというのは本当に幸いだったと思います。</p> <p>一応予定していた議事は以上です。事務局からその他で状況提供をいただきましたけれども、何かPTAや学校の方でコロナに関わって、給食に関して何か問題になったようなお話などありますでしょうか。</p>
委員	<p>問題というよりも給食なんですけれど、私も前にお話ししましたが西宮に生まれて西宮で育って、ずっと小学校も中学校も給食を食べてきて非常にありがたいなという気持ちでいっぱいですし、教委になってからも西宮で、非常にシステムを見れば細かいことは色々</p>

あるんだけど食中毒で困ったということもないし、給食も本当に長期間に亘って止まったということもないと思います。まああるのかもしれませんが、やっぱり今のシステムとかやり方というのは非常に優れてるんだろうなと思います。私たちの家は神戸なので、神戸は娘がいま大学生ですけど、中学入る前くらいからずっと「給食給食給食…始まる始まる始まる…」始まっても結局みんな「弁当持ってくる弁当持ってくる弁当持ってくる…」と1回も結局給食食べないで終わって、今も給食センター作るとかという感じで、中々食べ物を一律でやっていくというのは大変なんですけれども。西宮は色々と人の問題とかあるんだろうけれども、できてるっていうのはただ単に民間にぽんと委託したら、お金払ったらできるものではないというものを改めてここで共有できたらいいのかなと思っています。後は調理員さんもだんだん人材確保が難しいですね。そういうところの研修制度とかもしながらやっていかないといけないなど、色々あるんですけれども、本当に子供にしてみれば給食の時間というのは楽しそうにしているので、それは大事にこれからも堅持して行ってほしいなあとと思っています。

会長
委員

はい、ありがとうございます。

2点ほどいいですか。よく保護者の方から要望がある点を2点こちらからコロナとは関係ないのですが。

災害の警報が出た時に「給食は今日ないよ」という基準があるんですが、学校の先生方や皆さまもご存知だと思いますけれども、中学校であったり、北部の小学校でもそうなんですけれども学校まですごい遠いのに「警報が解除なって来ましたよ。でも今日は基準で給食が出ません」という場合があるんです。なのでそういう時でも基準を和らげていただいて、パンと牛乳だけでもいいから出してほしいとか、そういう意見がよく保護者の方から出ています。

もう1件は不登校の子供が、給食を月締めで止めていただいている方もいらっしゃると思うんですけれども、ふいに学校に行かれた時に「この子は給食代払ってないから食べなくて帰ってしまうよ」みたいなことは、あるかないか私も記憶が定かではないんですが、もし可能であればその日せっかく来ているんだから「給食食べて帰りや」という風にやっていただけるといいかなというのが保護者からよく出ています。

事務局

災害の方の対応ですけれど、西宮市の場合まず7時の時点というのがあります。7時の時点で暴風か大雨警報が出ている時点で、給食の食材が止まってしまいます。それで、9時の時点で、今度警報が出ているか出ていないかっていうことによって、子供たちが出てくる出てこないというところに関わってはくるのですが、9時の時点で警報が解除になっていることがありますと子供たちが出てきますので、その際に7時の時点で給食の物資自身が止まってしまっていますので、子供たちが来ていただいても給食が提供できないという状況にはなっています。我々としましても、どうしてもその物資を7時の時点で切らないと食材の無駄が出てきますので、現時点のシステムではいたし方ない部分ではあるのですが、それを埋めるための手段を今も検討しております。先ほども話が出ていますレトルトカレーとアルファ化米ですが、これを学校に事前に配達しておくことで、急遽そういった場合でも対応できるのではないかと検討しております。前日に「明日ちょっと危ない

	<p>な」という時に学校に配達することで、「警報出たけど、これは9時の時点で解除になったから子供たちが来る。」といったところで準備ができましたら、急な対応も可能なのではないかと考えているところです。ただその時に、こちらの懸念事項としては、アレルギーの対応がありますので、その時に食べられる子ばかりだといいいのですが、食べられない子がいた場合にはちょっとしんどいかなと考えています。ただ大勢の子供にとっては食べることができるようにはなりますので、検討している内容にはなります。</p> <p>それともう一つ、不登校の子供たちの件ですけれども、通常学校には予備食ということで1食程度はあります。その分を食べていただくことになりますと、食べた後に請求するということになりましますので、食べていただいた場合にはその分を請求させていただいて、お支払いいただければ対応可能と思います。そういった不登校の子供たちが5人-10人というような学校がもしあるのであれば、中々難しいですけれども、数食分であればおそらく対応できるのではないかなと考えています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>いずれにしても、一つ目のご質問についてはアレルギーの問題があるということなので、そういったことも含めて事前にするかどうかというのを全員に確認を取ってしないと。</p>
事務局	<p>そうですね。献立表には毎回レトルトの分の成分表は書いていますので、急にそれを使うことになっても確認は事前にいただくような形にはなるのですけれども、ただ当日それで保護者の方が自分の子はレトルト食べられないから弁当を持って行かないといけないという対応がとれるかどうかということが難しいと思います。いまの課題と考えている項目です。ふいに提供して万能な食材というものがないので、警報が出そうなきでの対応としては、今のところその取り組みがベターかなと考えているところです。</p>
事務局	<p>付け加えさせていただいていいですか。この話については、議会の方からでも議員さんの方からも取り上げられていることをごさしまして「7時の時点で警報が出ていて、9時の時点で解除されていて子供が登校しないといけない」というのを3年間遡りましたけれど、ここ3年ではそういう事案がないんですね。7時で警報になっていると9時まで解除されることが中々この3年間は無かったので、その時にどうするかというのを、今ないうちに考えないといけないなと思っています。</p>
会長	<p>気象庁の警報の解除のタイミングが、どこで判断するんでしょう。7時から9時の間にそもそも解除される可能性があるのかってところで、気象庁が解除しないのであればこの問題は起こらないですよ。</p>
事務局	<p>7時の時点って決まっていますからね。</p>
事務局	<p>地球の温暖化の関係で、どんどんそういう雨が降り出したら止まらないという状況の方が多いいかなとは考えているのですが、ただ我々としてもそういうパターンが絶対にないかといたら、ないとも言い切れませんので7時で警報だけれど9時には解除というパターンにも対応できるようなことは、引き続き検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>あと気象庁に7時から9時までの間に解除されることってあるんですかって、ないって判断だったら考える必要ないわけですから。私も大体7時に出ていけば9時まで解除されるのは今までなかったなっていう思いなんですけれども。晴れてきても解除されま</p>

副会長 委員	<p>せんしね。</p> <p>かなり付度されている気がします。</p> <p>「いつになったら解除されるの」っていう意見が出たり「西宮は広いから分けてくれたらいいのに」という意見もあります。</p>
事務局	<p>西宮という括りではありますけれども、その中でも土砂災害がある場所かどうかということも考慮になるみたいで、尼崎などは土砂災害がないような平地のところなので割と早めに解除になったりすることもあるようですが、西宮の場合は土砂災害警戒区域があちらこちらにあって、そういう所はやっぱり水を吸っていると雨が止んだとしても「まだまだ危険性はある。」という判断が、警報を解除するかしないというところに繋がっているということも聞いたことがあります。</p>
会長	<p>予備食を提供するかどうかっていうのは事前にその子に確認をとっておく必要もあるってことなんですか。</p>
事務局	<p>そうです。保護者の方にも確認していただくことにはなります。毎月ある時期から、予備食というか備蓄食自身の献立の内容もいれていますので、それはいつなってもいいように「確認しておいてください。」という内容にはなっています。ただ、それについても急に「使いますよ」と言ったところで、保護者の方は備蓄食になったということで、急遽用意できるのかどうかというところは、食べられない子供たちの保護者の方にとっては懸念事項ではあることには違いないです。</p>
会長	<p>そこはよくよく保護者さんとのコミュニケーションがあって成り立つところですので、そのあたりもぜひご相談いただければと思います。</p>
委員	<p>その他何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>アレルギーの対応の時に表ありますね。色んな仕組みは考えていただいているので、アレルギー入れたら食べれるものが○とか×とか結構ついてきたり色々するんですけども、人によっては細かいのを全部手でずーっと○を、一日分何個入れるのかな、20個くらいぎゅーっと入れて、見るのも本当に大変だなと思うくらい入れている。こっちもそれをチェックしながら1個間違えていたら、1個訂正があったら電話掛けてっていうふうな仕組みで、その数もものすごく増えてきている。なのでやっぱりミスできないので、どうしてもしっかり見ると。そうなるものすごい手間になるし、たぶんつけている人もすごい大変だと思う。あれはタブレットなどで、こちらも見れるとか双方向ではないけれども、そういったことも考えていってもらったら、お互いが助かるんじゃないかなと。</p>
事務局	<p>まだまだそういったものについては、改良等も必要になるかと考えていますが、学校の現状を聞きますと1クラスに数人いたり、1つの学校に20人ぐらいいたりという所も聞きますので、そうすると1人の子供さんが1種類のアレルギーだけだといいいのですけれども、数種類もっていてといったことで、今日食べる物が無いという子供さんもいることも聞いていますので、学校の対応、保護者の方の対応もかなり大変ではないかなと考えているところですので、引き続きシステムについては改良の方を考えていきたいと思っております。</p>
副会長	<p>よろしいですか。以前、西宮市は例えば卵アレルギーのお子さんの場合は、大きなメニューと調味料の中まで詳しく書かれているメニューと2つあると思うんですけど、卵に</p>

委員	<p>類するものが入ればそこに色がつくようになっていいると思うんですけど、それでも見にくいですか。</p> <p>色がつくし、親が出してくるものは白黒で出してくるんですけども。1個ずつ○しないといけないものが、たくさん出てくるんです。それで処理できるものはいいんだけれどもコンタミなどそれに類するもの場合は、全部食べられるの表示に空欄で出てくるので、それに全部○を入れていかないといけない人も結構いるんです。</p>
副会長 事務局	<p>それは紙ベースですか？</p> <p>まずはシステムで見ることは出来るのですけれども、紙で学校の方には出していただいています。</p>
副会長 事務局	<p>印刷して提出されるんですね。そうなんですね。転送ではないんですね。</p> <p>入力の項目も言葉の入れ違いもあって、一つの言葉でも色々な言い方があるのであれば、全て入れていないとチェックに引っかからないとか、かなり煩雑ではあります。A Iのようにこの言葉だったら多少範囲を広く抽出してくれたらいいのですが、今はこの言葉に対して引っかかるかどうかとなっていますので、色んな言い回しがあったらその言い回しを全て入れていないとチェックに引っかからないということになっています。</p>
副会長 事務局	<p>そのあたり、やっぱり一つの市町村だけでなく、県全体でとか色んなところでお金をかけて、それこそDXというか、システムをもう少し考えないといけない時代ですね。</p> <p>それぞれの自治体によって取り組みが違いますので、そういったところも課題にはなってくる部分と思います。</p>
副会長 会長 事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>どこかでDXみたいなのないんですかね。</p> <p>割と西宮が進んでいる方です。どちらかという、他の所ではそんなシステムがないというのも多々あります。</p>
副会長 事務局	<p>もうちょっと何かやっぱり考えないといけないですね。</p> <p>そうですね。色々と考えていかないといけないことは様々な場面であります。今はまずシンプルなところで、保護者の方にも慣れていただいて、除去食としても卵に類する物しか除去食としてはしていませんので。今後範囲を広げていくとおそらく学校の方も大変ですし、給食の調理室の現場も大変ですし、更に担任の先生も大変になりますし、というところでアレルギーも果てしなく色々な場面で障壁となる部分がありますので、中々難しいと思います。</p>
会長 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほど先生方がご苦労されているという点で、来年度の児童生徒数はほぼ確定されているかなと思うんですが、例えば基準が満たなくなってしまうと今までは栄養教諭がいたのに、いなくなる学校というのは来年度ありますか、ありませんか。</p>
事務局 委員	<p>今は把握できていません。</p> <p>まだ把握されていないってことですね。栄養教諭を全校配置っていうのは長年の校長会もPTAも願っていることなんですけれど、中々全校配置はされておらずで、その基準があるので、この年から児童生徒が減ってしまうと急に栄養教諭がいらっしゃらなくなると</p>

事務局	<p>というケースが時々あると伺っているのです。</p> <p>そうですね。</p> <p>要望としては全校配置ですが、基準に満たなくなった学校は減らさざるを得ないという。県の方がそういった任命・配置することにはなるのですが、どうしても 550 人の壁という基準は変わらないので、それを変えるということになると市の方でお金を出して配置していくということになりますので、人の配置となりますと中々厳しいものがあると思います。</p>
副会長 事務局	<p>それは県が決めている基準ですか。</p> <p>国の法律で決まっています。配置基準というものがあって、その部分が 550 人に 1 人という形になりまして、それ以外については 4 校に 1 人となっております。</p>
副会長 事務局	<p>文科省が制度を変えない限りは厳しいんですね。</p> <p>そうです。文科省の方も国の負担が以前は 3 分の 2 だったのですが、それが 3 分の 1 になっていますので、そのぶん県の方に負担がいつています。県の方としても今はまず教員の方ということで、そちらの方に力点を置いているように思います。更にそこから栄養教諭ということになると、全校にはしんどいのではないかと思います。今後クラス 35 人学級という部分もどんどん増やしていくという方針にもなっていますので、今までの兵庫方式で 4 年生までといていたことが、段々と全国的に上がっていくことになりますので、そういった部分でも負担が増えていくと思っています。</p>
会長 事務局	<p>教員の数が増えていったら栄養教諭の数も増やすということに。難しいですね。</p> <p>財源には限りがありますので、それをどう使っていくか知恵をしぼっていかないといけないと思います。</p>
副会長	<p>もう少し教育にもお金をかけていただかないと国自体が。そこが一番大事なところですよ。ここで言っても仕方がない話ですけど。子供は将来の投資ですから、そこをやっぱり見極めていただかないといけないですよ。明るくない話ですね。</p>
会長	<p>少人数クラスになっていくということはすごくいいことだと思うんですが、我々の議論は給食ですから。給食の栄養教諭さんにきちっと見ていただけるのは一番ベストなんでしょうけど、中々そこまで及ばないということなんでしょうけれど。</p>
副会長	<p>私の意見としては保護者の方がそう言っただけということ、栄養教諭の活動が認められているということで、栄養教諭ができあがってから 10 数年経っていますけれど、それだけの間で認められたということは非常に大きいことかなと思います。全校 1 校に 1 人配置していただけるなら 1 番理想ですけども、そうやって必要とされる人材になっていくことが重要ななと思っていますのでありがとうございます。</p>
会長	<p>その他、何かありませんでしょうか。議事はこれで全てということで、前回集まりが最後だと思って一言ずつと言っていたみたいですけれど、今日が最後なんですよ。今日が最後でまたメンバーが大幅に変わるかもしれないということなので、前回も色々お話をお伺いしたんですけども、まだ 15 分ありますので一言ずついただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>失礼します。こういう会議に来るといつも思うのは本当に何も分かっていなくて、色々</p>

	<p>聞いてそうなんだっていうのをすごく思います。今回のお話もすごく本当にアレルギーの子に対する対応っていうのは色々難しかったりして、増えてきているといえどもやっぱり少人数、大きな人数に比べれば少人数の対応になってくると思うので、システムをどうするかなど色々お話しがあったんですけど、自分の子にはアレルギーがないので、アレルギーに対しては大変だなんていうくらいしか分からないんですね。どのくらいの人がそれに関わって、どうしていくかっていうのを、もっともっとアレルギーを持っているお母さんたちの声を聞きながら一緒にそんなシステムを作っていけたら。ここはこうしてほしいというアレルギーのお母さんの意見が出て、学校側がそこまでの対応が難しいっていうお話しをもっともっと密にできれば、違ういいやり方が出てくるのかなと思います。なので、分からない人の話し合いも大事なんですけど、そこに当事者がいるのはすごく大事なことかなっていうふうに思いました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>失礼します。コロナ禍で黙食がずっと続いていて、それが心痛まれることだなと。中々難しいんですけども、何か給食の時間が少しでも楽しいものになってくれたらいいなというふうに願っています。いつもありがとうございます。</p>
委員	<p>今も黙食と出たんですけども、本当に静かです。うんともすんとも言わないと。あれほど給食は楽しい時間というのがあったんですけども。ちょっとでも喋ったりしたら、担任がね。今回のオミクロン株なんかうつって、周りみんな濃厚接触で陽性になったとかというところで。この黙食もいつまで続けるのかとか。学校の中でも黙食しながら音楽を流したり色々してるんですけども、そういう工夫もしないといけないなと。それから、今日も昨日もオンライン授業を50分授業で全部6コマ入れているんです。休み時間になって「出てきなさい」といったら皆画面上にばーっと出てくる。昼休憩は長いんですね。「いつも何を食べてるかぐらい聞きや」って言うんですけども「ラーメン」とか「食べてない」とか、それが1週間続くとどうなるのかなあと。やっぱり出てきて給食があるとありがたいなと思うので。やっぱりそういう家では中々なんだけれど、出てきたら美味しく食べているので、やっぱり給食の制度をきちっと堅持していくのは、西宮は結構進んでいるのは客観的に見て思うので、ぜひ続けていただければいいかなと思っております。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。特に意見はなくて、色々話を聞きながら、そうだったなそうだったなみたいなことばかりだったんですけど。調理員さんのコロナ禍で給食室が全滅してしまって、うちの学校からも1人補助で行かれて「勤務地が前に務めていたところやから」と気持ちよく引き受けてくださって、行ってきていたんですけど、後で聞いたら、1名減の体制だったからかもしれませんけれど「大変だった」とのことで、経験者ばかり集まっているけれど「大変忙しかった」と感想を言っておられました。でも気持ちよくそうして、他の学校が困っているっていう状況をさっと把握して調理員さんの間に広まって「行かなあかん」っていう動きがあるのが、すごいいいなっていうふうに感動しました。それと、調理室の環境もそうなんですけれど、本校は割と和気あいあいと皆コミュニケーションを取りながらしてくれているんですけど、それでもやっぱり経験の浅い人がちょっと手を切ってしまうというのがあったりして、余裕をもっともっと仕事ができる環境になればいいなと。やっぱりところどころ密なスケジュールでやっている部</p>

分もあるのかなと心配することがありました。それと栄養教諭の 550 名の壁っていうところで、うちの学校も子供たちの数が減ってきて、この数にいつ近づくなかというところで、もしこうなった時に回るんだらうかと。アレルギー対応だけで、さっきのチェック表のこともありましたけれど、それでも 30-40 名近い人数がいますので回るのかなという感じもしています。やはり早く何とか改善してほしいなという気持ちがありました。それとフードロスの話もあったんですけど、この事業が実現して本当によかったというふうに思っています。学級閉鎖の基準が変わってからは、学級閉鎖が極端に出ることはなくなったのですが、その前の段階ですごく続いたことがあって。いつ学級閉鎖を解くことができるかわからない状況で、給食も止められない。3クラス4クラス閉鎖分の給食物資がやってくるような状況があって、何とかならないかなと。給食課でなくて、学級閉鎖の基準に対して「これ全部捨てないと駄目なのか」ということで相談したことがあったんですけど「それは給食課に相談してください」と言われて、それは仕方がないなと思ったんですけど、それが早く実現できたので本当によかったなと思います。あっちいたりこっちいたり、感想だけの話になりましたけれど、ありがとうございました。

副会長

給食審議会に出席させていただいて、毎回保護者の皆さんや現場の校長先生方の話を聞かせていただいて、大学の栄養教諭を養成している立場からとても勉強させていただいてありがとうございます。やはり先ほども言いましたが、教育に国はお金をかけていただかないと思っています。子供たちが成長していくのに重要なことで、教育内容もそうですけれど食べ物は大変重要で、そのまま学習やら知能、体の作りとか色んなところに関連して、子供の成長を促し、また社会人になってもそれが続いていき生活習慣病まで続きますので、力を入れて国からもお金を投資していただきたいと切に思っています。現場はやはり、給食を取り巻くアレルギーの問題、調理場の問題、施設の問題、コロナの問題、食材の問題、たくさんありますけれど、我々としては誰一人取り残さずに成長してほしい、みんな力を併せてこれに取り組んで子供たちが誰一人取り残されずに成長してほしい、という思いで栄養教諭を育てていますので、ぜひそれを含んでいただきまして、これからも一緒に勉強させていただきたいと思います。また来年度もさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会長

審議会の会長を務めさせていただいて8年程になるんですけども。会長というよりは保護者の代表の1人として、上が大学3年生、下が小学5年生、ずっと給食を子供たちが食べ続けている中で、この仕事をさせていただいていますので、1人の親として給食に携わって話をさせていただき、現場の話も伺うことができ、教育委員会の取り組みもお伺いできて、非常に深く理解した中でこういった審議会を務めさせていただいて私自身も勉強させていただいています。本当は水道・下水道が専門なので、今週もこの審議会以外にもあと2つ水道関係の審議会ありまして、予算ができたのでそういう話をさせていただいているんですけども。やっぱり水道・下水道だと国の委員もしていますので、国土交通省や厚生労働省の水道・下水道に直接ものを言える立場ではありますから、ずばずばと言いたいことを言っているんですけど、残念ながら文科省にはパイプがなくて直接言いたいけど言う相手がいないと。それはもどかしいところはあるんですけども、やはりお話を

伺っている限り、国のルールがあって、県のルールがあって、市のルールがあって、そして現場があって。現場の声を何とか上に伝えられたらと思うんですけども。とはいえですね、西宮市が全国においてこれだけ給食に関して最先端を突っ走っている都市だなんていうのは今回また改めてお伺いしました。上下水道であれば「他の市はどうなっていますか。確認してください」って言えるんですけども、西宮市が1番先端を走っているので、むしろ他の市の見本になるような市にならないといけないのはすごく強く思いましたし。水道も下水道もそうなんですけれど、当たり前っていう、できて当たり前、そこに存在して当たり前のものでしたよね。だけどそれを維持していくことがどれだけ大変なことかっていうのは、水道・下水道に関わってすごく感じますし、この給食についても日々滞ることのないようにやっていくことがどれだけ大変なことか。子供たちの食の安全、命の安全を守るためにどれだけ給食っていうものが大切なのかっていうのは改めて見させていただきましたし。とはいえですね、時代が変われば、少子高齢化で新たなアレルギーの問題、コロナのような問題、本当に将来何が起こるか分からない中で、それに対して対応していかなければならない、そういう大変なところでもありますけれど、ぜひ皆さんのお知恵を結集して少しでもより良いものになっていくことが大事なのかなと。子供たちの笑顔が何よりの我々の給食を続けていくことについての報酬といいますか、やってよかったなと思えることなのかなと思います。ぜひ今後ともすごく大変なところかと思いますが、色んなことに対してご検討もいただいていますし、子供たちのために事業が続けられればと思います。またあと2年ですね、関わらせていただきます。是非今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは事務局にお戻ししますので、よろしくお願いいたします。

事務局

はい、ありがとうございました。2年間の任期、色々のご意見いただきましてありがとうございました。また次年度、それぞれの所属でメンバー交代ということもあるかもしれませんが、引き続き西宮市の学校給食にご協力のほうよろしくお願いいたします。

それからご案内ですが、今回こちらの庁舎が移転することになっておりまして、JR西宮の南側にあります応急診療所の上に行くことになりました。25日に引越し、翌週の月曜日からはそちらの方で執務を行うことになっております。次回、令和4年度の第1回学校給食の審議会はそちらの方で行うこととなりますので、またご案内を送らせていただいた際にはよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

(終了)